

## 旧統一教会との 関係が指摘される主な国会議員ら

岸 信夫 防衛相	教団メンバーから選挙の手伝いを受けたと説明
二之湯 智 国家公安委員長	関連団体が開催したイベントであいさつをしたと明かす
末松 健介 文部科学相	教団関係者からパーティ券を購入してもらったと認める
篠原 孝氏 小宮山泰子氏 中川 正春氏	教団、もしくは関連団体が開いた会合に祝電を送った
玉木雄一郎代表	関係が深いとされる世界日報元社長から寄付を受けたと公表

※二之湯氏は25日で参院議員任期満了

立民や共産党などが追及の糸口を探るのが、安倍派幹部の下村博文元文科相だ。旧統一教会は一九九〇年代から名称変更を希望したとされるが、文化庁が受理したのは二〇一五年。当時の文科相が下村氏だっ

ただ、狙い通りにいく保証はない。二十六日だけで、安倍氏の実弟・岸信夫たした。

### ■ もろ刃

立民や共産党などが追及の糸口を探るのが、安倍派幹部の下村博文元文科相だ。旧統一教会は一九九〇年代から名称変更を希望したとされるが、文化庁が受理したのは二〇一五年。当時の文科相が下村氏だっ

それでも競争を急ぐ。それは、国会での本格論戦には、国会での本格論戦に備えるためだ。立民幹部は「早めに内部調査を済ませ、及び腰な自民との違いを際立たせたい」と意気込んでみせた。

# 旧統一教会接点次々

安倍晋三元首相就選事件をきっかけに世界平和統一家庭連合（旧統一教会）と政界の関係に注目が集まっている。焦点は統々と所属議員らの関与が判明する自民党だが、具体的な対応は見えない。一方、立憲民主党をはじめ野党は所属議員への聞き取りなどを始め、内部調査に踏み切らない自民へのけん制を狙う。

## 自民閣僚ら選挙応援など

### ■ 火の粉

「党としては一切関係がない。各議員には厳正、慎重な対応をするよう注意を促していく」。二十六日、自民の茂木敏充幹事長は記者会見で、所属議員と教団の関わりを調べるかどうかを問われ、消極姿勢を示した。党の立場と、個別議員の自主性を切り分け、火の粉を振り払おうとした形だ。

## 追及の野党も関係指摘

防衛相は選舉の際、教団メンバーから手伝いを受けたと説明。二之湯智国家公安委員長は、関連団体のパーティ券を購入してもらおうとしたと公表した。

二十二日には末松健介文部科学相が教団関係者にパーティ券を購入してもらつたと認めており、閣僚だけでは二人となつた。

さらに、党幹部は「第一次安倍内閣で安倍氏の政務支援を受けた」と明かす。井上氏は教団の「賛同会員」だとしており、比例代表の党内十三位で当選を果たした。

調査を急ぐのは、野党側も関与を指摘されたからだ。立民の篠原孝、小宮山泰子、中川正春の二衆院議員は教団もしくは関連団体が開いた会合に祝電を送り、国民党の玉木雄一郎代表は教団と関係が深いとされる世界日報の元社長から寄付を受けていた。追及はもう刃の剣になりかねない。

二十五日、立民の「被害対策本部」に出席したジャーナリストの有田芳生氏は、文化庁に問い合わせたところ、専決者は部長で、下村氏には事前説明したなどと回答があつたと紹介。立民の中堅議員は「下村氏の『鶴の一聲』で決まった可能性がある」と見立てる。一方の下村氏は「十一日、記者団に『全く関わっていない』と強く否定した。当面、議員個々の対応に委ねる構えの自民を尻目に、立民は二十六日、所属議員や首長らを対象に実態調査を開始。既に日本維新の会も党内調査を決め、共産は教団と政界の関係を解明するため「追及チーム」を設置した。